

根ね源げん實み紫むらさき

上の卷十二

9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8



根源
實紫

上卷
笠亭仙果作
梅蝶樓國貞画



泉
喜
太
板



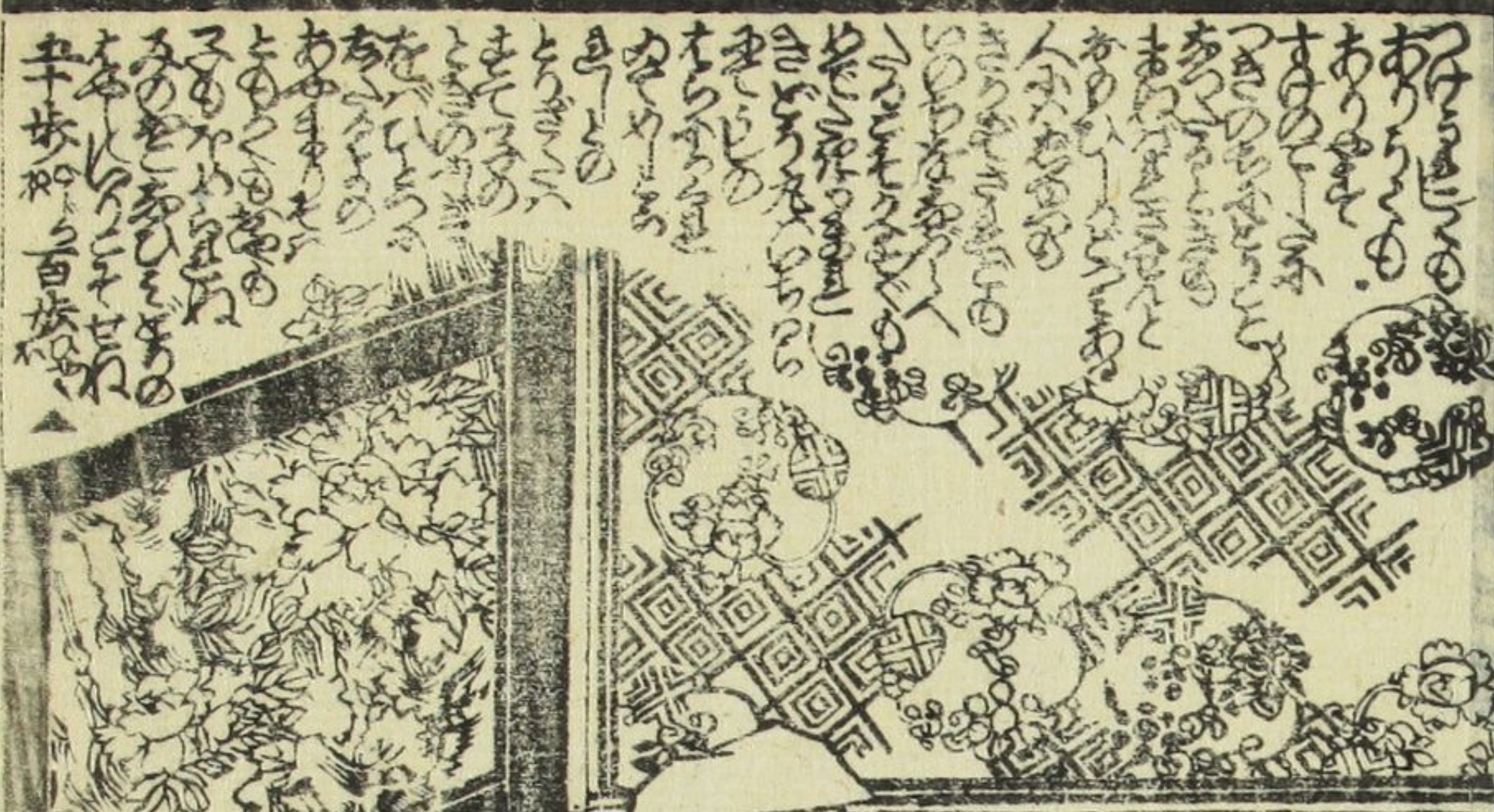
松寄宜孝朝臣

あきやのふ
あききねや
西のあしそく
なまはせ
あきま
あきまのひあつねや
あか
あきまのあきま

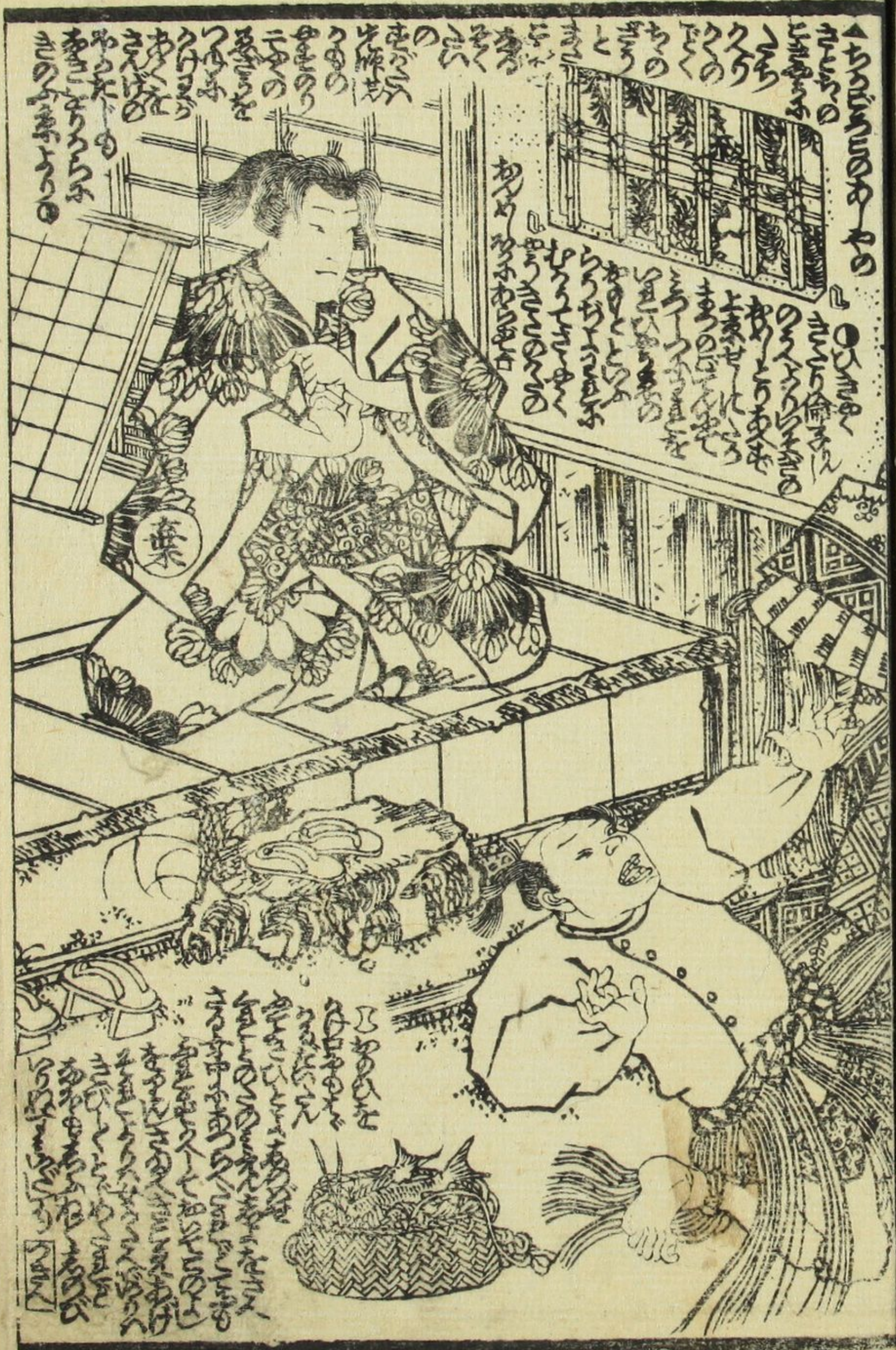




あつちの... 兵... 道... 法... 中... 積善寺...
あつちの... 兵... 道... 法... 中... 積善寺...
あつちの... 兵... 道... 法... 中... 積善寺...



あつちの... 兵... 道... 法... 中... 積善寺...
あつちの... 兵... 道... 法... 中... 積善寺...
あつちの... 兵... 道... 法... 中... 積善寺...



根ね源げん實み紫むらさき

下の卷十二





人まん
 笑あら
 似采
 化
 周
 似
 采
 化
 周
 笑あ
 人ま
 似采
 化
 周



象
 喜太
 板



あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...

あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...

あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...

あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...
あきあきのしほもあつて...



この世の世間は
 何事も人の心
 かりては成る
 ことぞ知らぬ
 人の心は
 天にまかせ
 せむは
 ひとにまかせ
 うつてまかせ
 あつてまかせ
 らまかせ
 まかせ
 まかせ

一驚き
 まかせ
 まかせ

種
 掃

この世の世間は
 何事も人の心
 かりては成る
 ことぞ知らぬ
 人の心は
 天にまかせ
 せむは
 ひとにまかせ
 うつてまかせ
 あつてまかせ
 らまかせ
 まかせ
 まかせ

一驚き
 まかせ
 まかせ

種
 掃

この世の世間は
 何事も人の心
 かりては成る
 ことぞ知らぬ
 人の心は
 天にまかせ
 せむは
 ひとにまかせ
 うつてまかせ
 あつてまかせ
 らまかせ
 まかせ
 まかせ

一驚き
 まかせ
 まかせ

種
 掃

この世の世間は
 何事も人の心
 かりては成る
 ことぞ知らぬ
 人の心は
 天にまかせ
 せむは
 ひとにまかせ
 うつてまかせ
 あつてまかせ
 らまかせ
 まかせ
 まかせ

一驚き
 まかせ
 まかせ

種
 掃



まはるもさうらうらうのそめい
まはるもさうらうらうのそめい
まはるもさうらうらうのそめい



長慶集
他人
あはれ

あまのついで
あまのついで
あまのついで

あまのついで
あまのついで
あまのついで

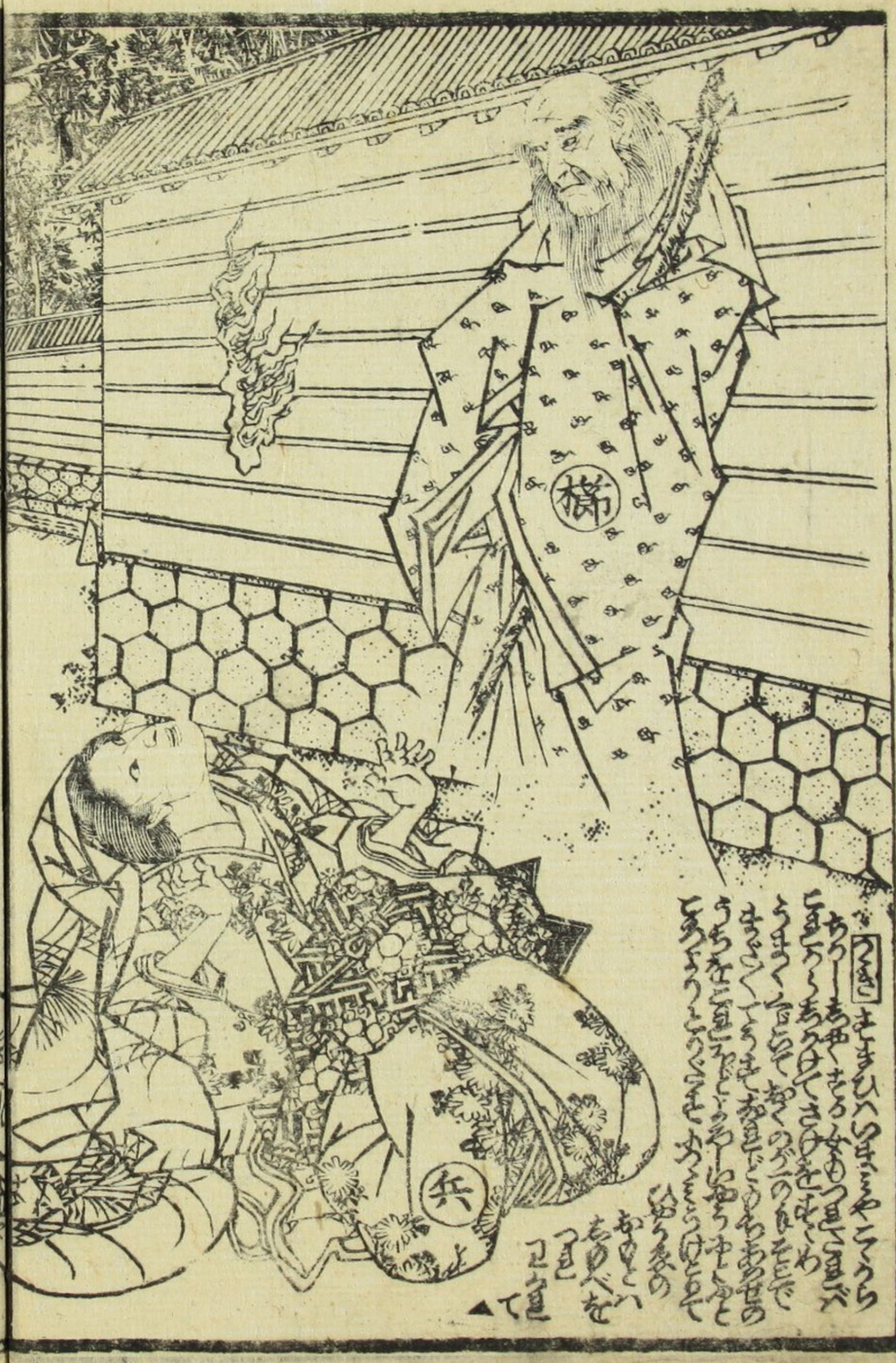


あまのついで
あまのついで
あまのついで



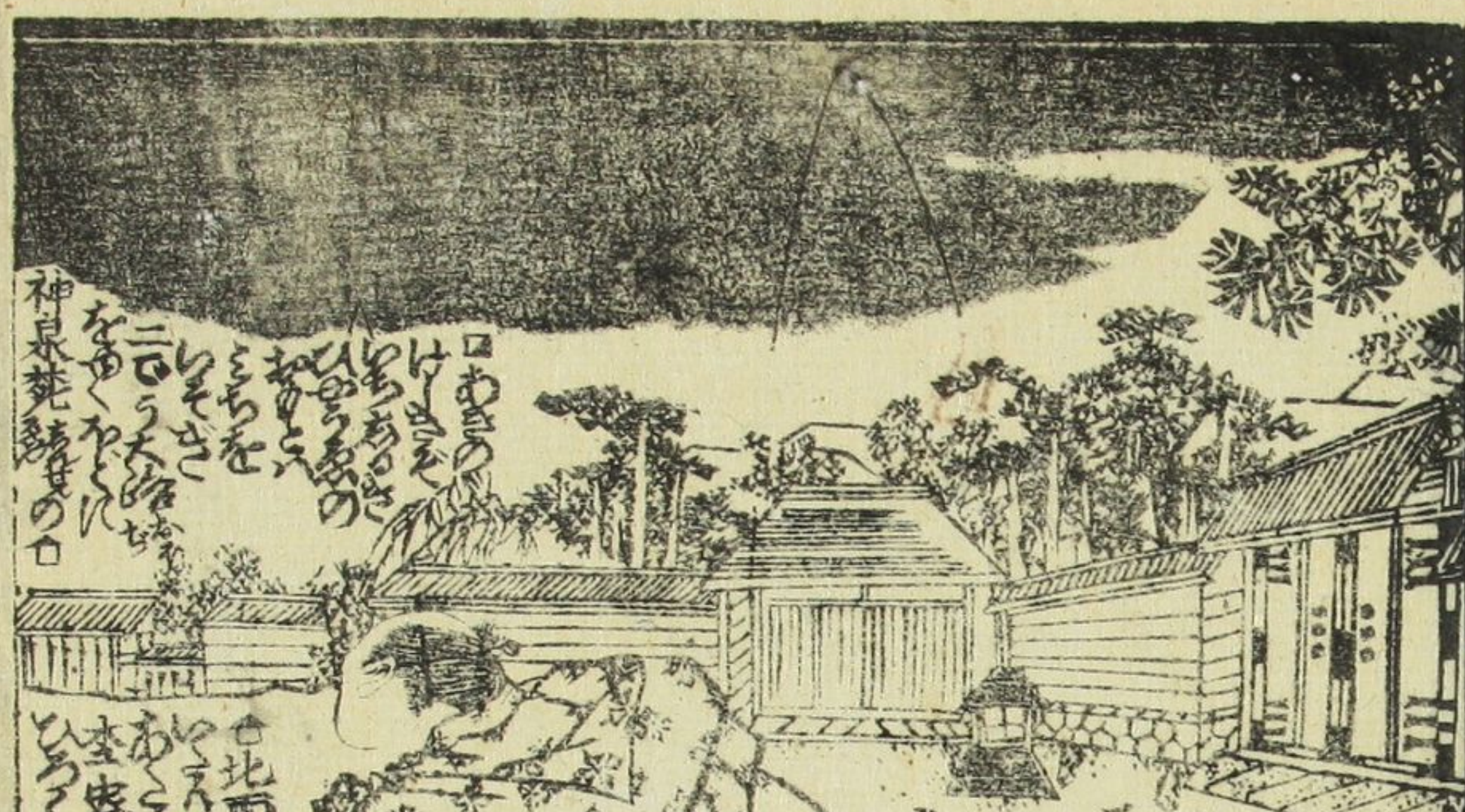
あまのついで
あまのついで
あまのついで

あまのついで
あまのついで
あまのついで



ままた申すは... ありて... 申すは...

おのれを
正直
とす

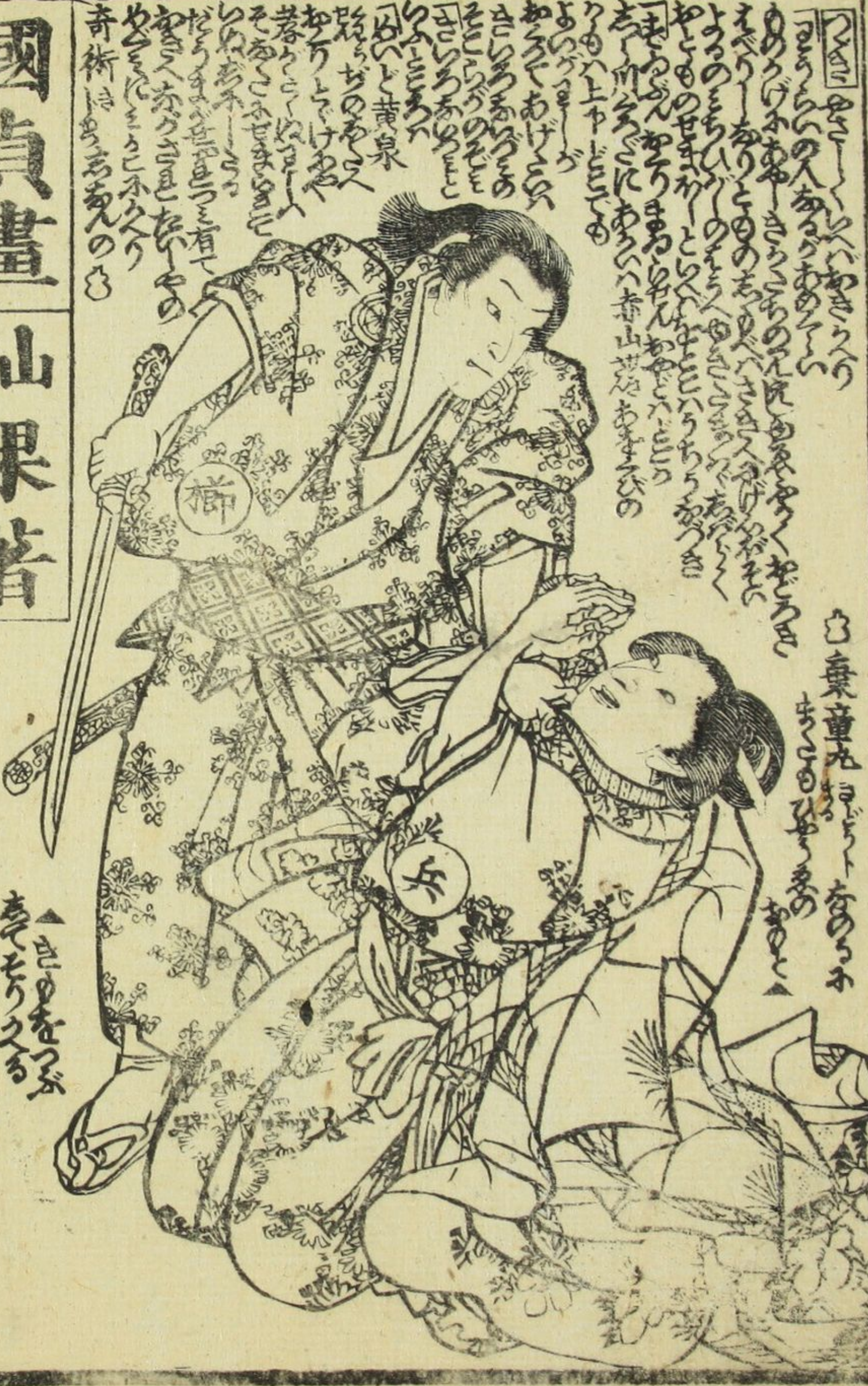


いづれを... 申すは... ありて...
申すは... ありて...
申すは... ありて...

神泉苑跡の口

此巻の人はあつたていつ
 のうらぶあつたていつのうらぶあつたていつ
 ちのうらぶあつたていつのうらぶあつたていつ
 うらぶあつたていつのうらぶあつたていつ
 うらぶあつたていつのうらぶあつたていつ
 うらぶあつたていつのうらぶあつたていつ

此巻の人はあつたていつ
 のうらぶあつたていつのうらぶあつたていつ



國貞畫 仙果著

奇術はあつたていつの
 うらぶあつたていつのうらぶあつたていつ
 うらぶあつたていつのうらぶあつたていつ

▲此の巻を
 著す所の
 文を
 記す

十返舎 一九作 滑稽首道中藤栗七

柳水亭種清作

不思議塚小説櫻

柳水亭着水作 豊時田秋澆新雁

柳水亭種清作

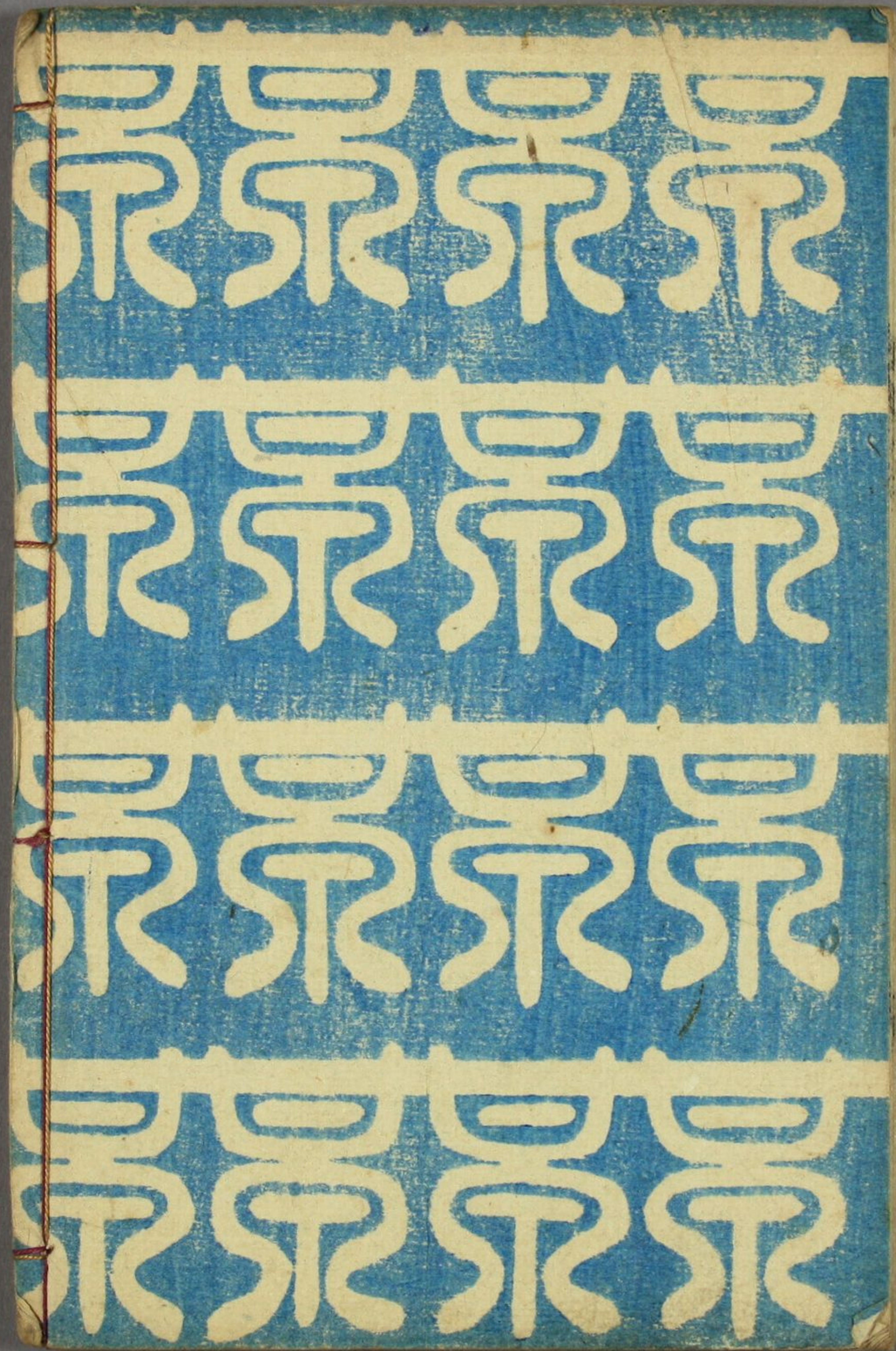
同 狂田姉妹新白石

同 風俗浅間ヶ嶽

関太郎 鈴ヶ譚

五篇大尾

出版人 京橋区銀座四丁目三番地 山中喜太郎



種彦作



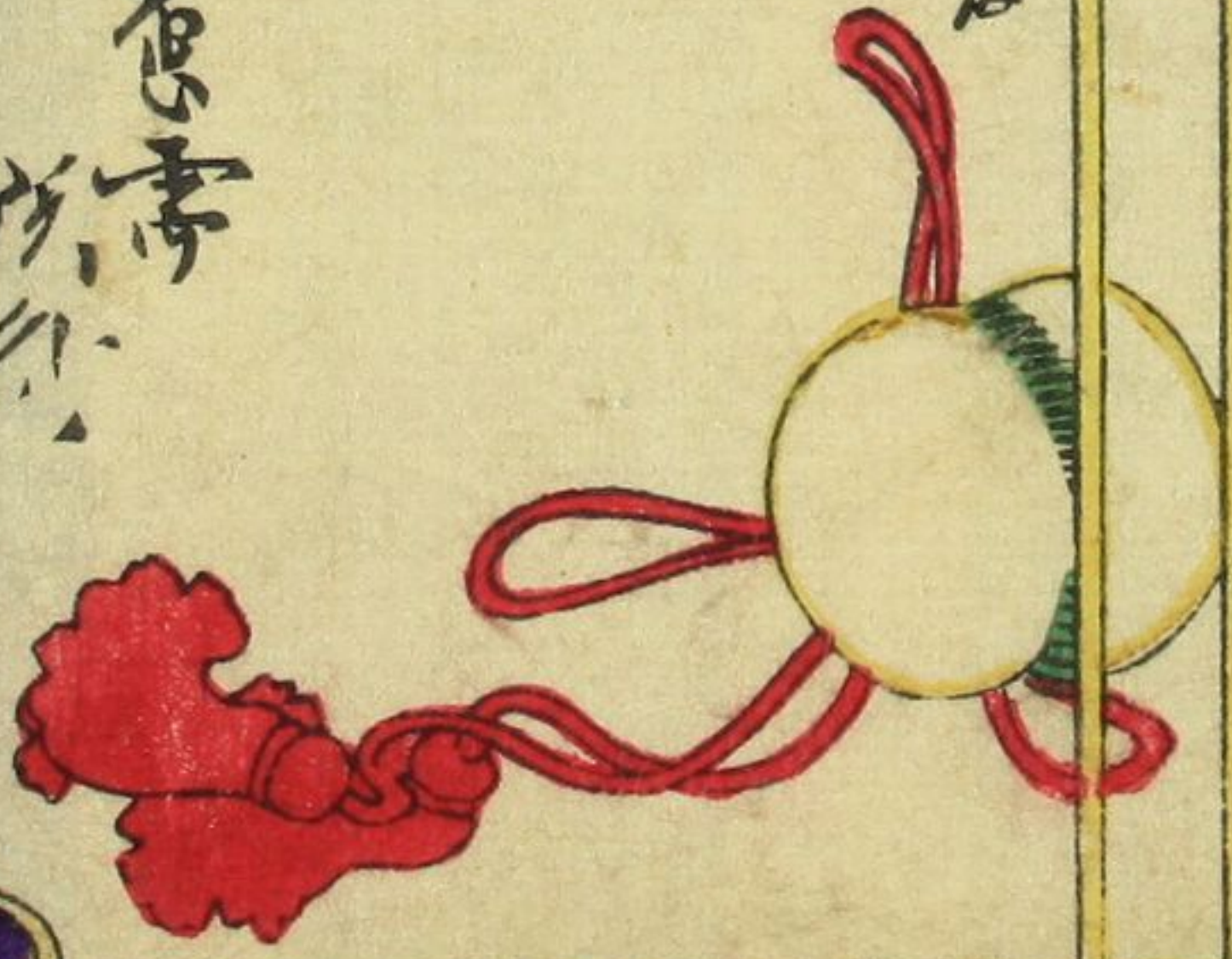
園貞画

根源

夏之家

甘原子彦

彦常
抄



十一卷

